

Rec'd PCT/PTO 17 DEC 2004

PCT/JP03/07668

17.08.03

10/518442

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2002年 6月17日

REC'D 01 AUG 2003

12/158 PCT

出願番号  
Application Number: 特願2002-176022  
[ST. 10/C]: [JP2002-176022]

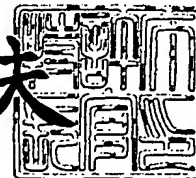
出願人  
Applicant(s): 株式会社テムコジャパン

PRIORITY  
DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 7月11日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3056705

【書類名】 特許願

【整理番号】 P1406-02

【あて先】 特許庁長官殿

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区方南 2-12-26  
株式会社テムコジャパン内

【氏名】 武田 猛

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区方南 2-12-26  
株式会社テムコジャパン内

【氏名】 若林 哲夫

【特許出願人】

【識別番号】 591075892

【氏名又は名称】 株式会社テムコジャパン

【代理人】

【識別番号】 100081558

【弁理士】

【氏名又は名称】 齋藤 晴男

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 053589

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9709171

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンセントタップ、電源遮断システム及び電源遮断方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 プラグ差込口を具備し、家庭用商用電源に接続されることにより前記プラグ差込口に接続された電気機器に対して電力を供給するコンセントタップであって、前記プラグ差込口における電源を遮断する電源遮断手段と、無線回線による制御信号を受信する無線受信手段と、この無線受信手段により受信された前記制御信号に基づいて前記電源遮断手段を制御する制御手段とを備えたことを特徴とするコンセントタップ。

【請求項 2】 前記プラグ差込口における前記電気機器に対する電源遮断の実行結果を示す実行結果信号の生成手段と、この実行結果信号生成手段からの実行結果信号を無線回線により送信する無線送信手段とを更に備える請求項 1 に記載のコンセントタップ。

【請求項 3】 家庭用商用電源に接続されることにより電気機器に対して電力を供給するコンセントタップと、外部の電話回線に接続されて前記コンセントタップを制御する電話機とで構成される電源遮断システムであって、前記コンセントタップは、前記電気機器が接続されるプラグ差込口と、このプラグ差込口における電源を遮断する電源遮断手段と、前記電話機より送信された無線信号を受信する受信手段と、この受信手段により受信された前記無線信号に基づいて、前記電源遮断手段を制御する制御手段とを備え、前記電話機は、前記外部の電話回線を介して送信された制御信号を受信する制御信号受信手段と、この制御信号受信手段に基づいて、前記コンセントタップに対して前記無線信号を送信する送信手段とを備えることを特徴とする電源遮断システム。

【請求項 4】 前記コンセントタップは、前記プラグ差込口から前記電気機器に対する電源遮断の実行結果を示す信号生成手段と、この信号生成手段による実行結果を示す無線信号を前記電話機へ無線送信する送信手段とを更に備え、前記電話機は、前記コンセントタップの送信手段により送信された前記無線信号を受信する受信手段とを更に備える請求項 3 に記載の電源遮断システム。

【請求項 5】 前記電話機は、前記受信手段により受信した前記無線信号を

基に前記コンセントタップが有する前記プラグ差込口における電源遮断の実行結果を解析することにより、利用者に結果を報告する音声案内を選択する音声案内選択手段と、この音声案内選択手段により選択された利用者に結果を報告する音声案内を再生する再生手段とを更に備える請求項 3 又は 4 に記載の電源遮断システム。

【請求項 6】 家庭用商用電源に接続されることにより電気機器に対して電力を供給するコンセントタップと、外部の電話回線と電話機の間に接続されて前記コンセントタップを制御する電源遮断装置とで構成される電源遮断システムであって、前記コンセントタップは、前記電気機器が接続されるプラグ差込口と、このプラグ差込口における電源を遮断する電源遮断手段と、前記電源遮断装置より送信された無線信号を受信する受信手段と、この受信手段により受信された前記無線信号に基づいて、前記電源遮断手段を制御する制御手段とを備え、前記電源遮断装置は、前記外部の電話回線を介して送信された制御信号を受信する制御信号受信手段と、この制御信号受信手段に基づいて、前記コンセントタップに対して前記無線信号を送信する送信手段とを備えることを特徴とする電源遮断システム。

【請求項 7】 前記コンセントタップは、前記プラグ差込口から前記電気機器に対する電源遮断の実行結果を示す信号生成手段と、この信号生成手段による実行結果を示す無線信号を前記電源遮断装置へ無線送信する送信手段とを更に備え、前記電源遮断装置は、前記コンセントタップの送信手段により送信された前記無線信号を受信する受信手段とを更に備える請求項 6 に記載の電源遮断システム。

【請求項 8】 前記電源遮断装置は、前記受信手段により受信した前記無線信号を基に前記コンセントタップが有する前記プラグ差込口における電源遮断の実行結果を解析することにより、利用者に結果を報告する音声案内を選択する音声案内選択手段と、この音声案内選択手段により選択された利用者に結果を報告する音声案内を再生する再生手段とを更に備える請求項 6 又は 7 に記載の電源遮断システム。

【請求項 9】 電話の着信に応答する着信応答手段と、この着信応答手段で

着信に応答した場合に、事前に設定された電源遮断用番号か否かを確認する確認手段と、この確認手段で確認した電源遮断用番号からの着信に基づいて電源遮断処理を行なう電源遮断処理手段とを具備することを特徴とする電源遮断装置。

【請求項 10】 外部通信機器から電話回線を介して制御対象であるコンセントタップを遠隔制御するシステムであって、前記電話回線に接続され、契約者に対応し且つ契約者宅の電話番号を含む契約者データを管理するコール・センターと、前記コール・センターから電話回線を介して電話を受けて電源遮断の制御を実行する電源遮断装置とを備えることを特徴とする電源遮断システム。

【請求項 11】 外部通信機器から電話回線を介して制御対象であるコンセントタップを遠隔制御する方法であって、電話回線に接続されたコール・センターのデータベース・サーバーに契約者に対応し且つ契約者宅の電話番号を含む契約者データを設ける事前工程と、電話の着信情報から契約者データを検索し、結果をメモリする認証工程と、このメモリした契約者データの内容に基づいて電話回線を介して対応する契約者宅に電話する代行工程と、この代行工程における電話を受けた電話番号に基づいて電源遮断の制御を実行する電源遮断工程を有することを特徴とする電源遮断方法。

【請求項 12】 前記事前工程において、データベース・サーバーに複数の契約者に対応する複数の契約者データを設け、前記認証工程において、着信があった契約者に対応した契約者データを検索して呼び出す請求項 11 に記載の電源遮断方法。

【請求項 13】 電源遮断開始を実行できる電話番号が、コール・センターの電話番号に限定されている請求項 11 又は 12 に記載の電源遮断方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】

本発明は、コンセントタップ、電源遮断システム及び電源遮断方法に関し、詳細には、外出先からの電話回線を通して電気機器に対する電力供給を遮断するコンセントタップ、電源遮断システム及び電源遮断方法に関する。

【0002】

**【従来の技術】**

従来、個別の電気機器毎に電源を遮断する装置としてタイマー付コンセントタップがあるが、この場合は事前に設定した時刻に基づいてオン・オフするだけなので、外出時の電源切り忘れの対策にはならない。

**【0003】**

ところで、社会全体が家庭とか人を中心に考えられた仕組みになってきており、その基本母体である家庭はグローバルネットワークに接続されたホームオートメーションが実用化されつつある。

**【0004】**

ホームオートメーションとは、マイコンが組み込まれた家庭内の電気機器がすべてホームネットワークで接続されて集中制御されることを言い、このようなシステムが実現すれば、外出先からでも切り忘れた電源を遮断することも可能となる。

**【0005】**

しかし、ホームオートメーションで管理する電気機器には制御用コンピュータと通信するための特別な手段が必要であり、既に保有している電気機器をそのまま使用するという訳にはいかない。そのため、ホームオートメーションは新築の住宅向けに導入することが一般的であり、しかもその導入に相当高額の費用がかかるため、普及にはかなりの年月を費やすものと思われる。

**【0006】**

また、ホームオートメーションを実用化するためには、音声認識、感性情報処理技術等を駆使したコンピュータが必要になると思われるが、例えば、コンピュータの使用に抵抗のある高齢者等は、システムを理解して使いこなすには困難を極めるものと予測される。

**【0007】****【発明が解決しようとする課題】**

本発明は、上記状況に鑑みてなされたもので、電気ストーブ、電気コンロ、アイロン等の高熱を発生する電気機器を外出時に電源を切り忘れたことによる失火の危険性を未然に防止するため、外出先から、プラグ差込口における電力供給を

遮断することができるコンセントタップ、電源遮断システム及び電源遮断方法を提供することを課題とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するための本発明に係るコンセントタップは、プラグ差込口を具備し、家庭用商用電源に接続されることにより前記プラグ差込口に接続された電気機器に対して電力を供給するコンセントタップであって、前記プラグ差込口における電源を遮断する電源遮断手段と、無線回線による制御信号を受信する無線受信手段と、この無線受信手段により受信された前記制御信号に基づいて前記電源遮断手段を制御する制御手段とを備えたことを特徴とするものである。

【0009】

好ましくは、前記プラグ差込口における前記電気機器に対する電源遮断の実行結果を示す実行結果信号の生成手段と、この実行結果信号生成手段からの実行結果信号を無線回線により送信する無線送信手段とを更に備える。

【0010】

上記課題を解決するための本発明に係る電源遮断システムは、家庭用商用電源に接続されることにより電気機器に対して電力を供給するコンセントタップと、外部の電話回線に接続されて前記コンセントタップを制御する電話機とで構成される電源遮断システムであって、前記コンセントタップは、前記電気機器が接続されるプラグ差込口と、このプラグ差込口における電源を遮断する電源遮断手段と、前記電話機より送信された無線信号を受信する受信手段と、この受信手段により受信された前記無線信号に基づいて、前記電源遮断手段を制御する制御手段とを備え、前記電話機は、前記外部の電話回線を介して送信された制御信号を受信する制御信号受信手段と、この制御信号受信手段に基づいて、前記コンセントタップに対して前記無線信号を送信する送信手段とを備えることを特徴とするものである。

【0011】

好ましくは、前記コンセントタップは、前記プラグ差込口から前記電気機器に対する電源遮断の実行結果を示す信号生成手段と、この信号生成手段による実行

結果を示す無線信号を前記電話機へ無線送信する送信手段とを更に備え、前記電話機は、前記コンセントタップの送信手段により送信された前記無線信号を受信する受信手段とを更に備える。

【0012】

また好ましくは、前記電話機は、前記受信手段により受信した前記無線信号を基に前記コンセントタップが有する前記プラグ差込口における電源遮断の実行結果を解析することにより、利用者に結果を報告する音声案内を選択する音声案内選択手段と、この音声案内選択手段により選択された利用者に結果を報告する音声案内を再生する再生手段とを更に備える。

【0013】

上記課題を解決するための本発明に係る電源遮断システムは、家庭用商用電源に接続されることにより電気機器に対して電力を供給するコンセントタップと、外部の電話回線と電話機の間に接続されて前記コンセントタップを制御する電源遮断装置とで構成される電源遮断システムであって、前記コンセントタップは、前記電気機器が接続されるプラグ差込口と、このプラグ差込口における電源を遮断する電源遮断手段と、前記電源遮断装置より送信された無線信号を受信する受信手段と、この受信手段により受信された前記無線信号に基づいて、前記電源遮断手段を制御する制御手段とを備え、前記電源遮断装置は、前記外部の電話回線を介して送信された制御信号を受信する制御信号受信手段と、この制御信号受信手段に基づいて、前記コンセントタップに対して前記無線信号を送信する送信手段とを備えることを特徴とするものである。

【0014】

好ましくは、前記コンセントタップは、前記プラグ差込口から前記電気機器に対する電源遮断の実行結果を示す信号生成手段と、この信号生成手段による実行結果を示す無線信号を前記電源遮断装置へ無線送信する送信手段とを更に備え、前記電源遮断装置は、前記コンセントタップの送信手段により送信された前記無線信号を受信する受信手段とを更に備える。

【0015】

また好ましくは、前記電源遮断装置は、前記受信手段により受信した前記無線



信号を基に前記コンセントタップが有する前記プラグ差込口における電源遮断の実行結果を解析することにより、利用者に結果を報告する音声案内を選択する音声案内選択手段と、この音声案内選択手段により選択された利用者に結果を報告する音声案内を再生する再生手段とを更に備える。

【0016】

上記課題を解決するための本発明に係る電源遮断装置は、電話の着信に応答する着信応答手段と、この着信応答手段で着信に応答した場合に、事前に設定された電源遮断用番号か否かを確認する確認手段と、この確認手段で確認した電源遮断用番号からの着信に基づいて電源遮断処理を行なう電源遮断処理手段とを具備することを特徴とするものである。

【0017】

上記課題を解決するための本発明に係る電源遮断システムは、外部通信機器から電話回線を介して制御対象であるコンセントタップを遠隔制御するシステムであって、前記電話回線に接続され、契約者に対応し且つ契約者宅の電話番号を含む契約者データを管理するコール・センターと、前記電話回線を介して前記コール・センターに電話の着信情報から契約者データを検索し、結果をメモリさせる外部通信機器と、コール・センターから電話回線を介して電話を受けて電源遮断の制御を実行する電源遮断装置とを備えることを特徴とするものである。

【0018】

上記課題を解決するための本発明に係る電源遮断方法は、外部通信機器から電話回線を介して制御対象であるコンセントタップを遠隔制御する方法であって、電話回線に接続されたコール・センターのデータベース・サーバーに契約者に対応し且つ契約者宅の電話番号を含む契約者データを設ける事前工程と、電話の着信情報から契約者データを検索し、結果をメモリする認証工程と、このメモリした契約者データの内容に基づいて電話回線を介して対応する契約者宅に電話する代行工程と、この代行工程における電話を受けた電話番号に基づいて電源遮断の制御を実行する電源遮断工程を有することを特徴とするものである。

【0019】

好ましくは、前記事前工程において、データベース・サーバーに複数の契約者

に対応する複数の契約者データを設け、前記認証工程において、着信があった契約者に対応した契約者データを検索して呼び出す。

【0020】

また好ましくは、電源遮断開始を実行できる電話番号は、コール・センターの電話番号に限定される。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を添付図面に依拠して説明する。図1は、本発明に係るコンセントタップの外観例を示す図である。

【0022】

コンセントタップ1は、筐体2、電源プラグ3及び筐体2内部において図示しないコードを備える。筐体2の電源プラグ3と反対側の面には、プラグ差込口4が配設され、プラグ差込口4は筐体2内部においてコードを介して電源プラグ3と連結される。プラグ差込口4は電気機器の電源プラグに接続されるものであり、また電源プラグ3は家庭用商用電源に接続されるものである。

【0023】

コンセントタップ1は、更に、筐体2内部に、無線通信装置23、制御回路部21、電源遮断機構10及び信号生成装置22等の各部を備えて構成される（図2参照）。

【0024】

無線通信装置23は、MCA無線6を介して送信される電話機5からの制御信号を受信する（図3参照）。更に、この無線通信装置23は、信号生成装置22において生成される制御信号を電話機5に送信する。

【0025】

制御回路部21は、無線通信装置23から入力された電話機5からの制御信号に基づいて、電源遮断機構10に対して制御信号を出力し、電源遮断機構10の動作を制御する。信号生成装置22は、電源遮断機構10の電源遮断の実行結果を、無線通信装置23を介して電話機5に送信する。

【0026】

電源遮断機構 10 は制御回路部 21 に接続され、制御回路部 21 からの制御信号に基づいて、プラグ差込口 4 の電源を遮断させる。

【0027】

なお、無線通信装置 23 及び制御回路部 21 は、それぞれ電源プラグ 3 を介して家庭用商用電源から電力供給を受けて動作可能となる。

【0028】

図 3 は、本発明に係る電源遮断システムの第 1 の実施例の構成を示す図である。本発明に係る電源遮断システムは、電話機 5 と、屋内において無線回線 6 を介して電話機 5 と接続された複数のコンセントタップ 1 とから構成される。

【0029】

電話機 5 は、外部通信機器 7 からの制御信号を、電話回線 8 を介して受信し、この受信した制御信号に基づいて、屋内に配設されたコンセントタップ 1 との間で無線通信を行ない、複数のコンセントタップ 1 の動作を制御する。

【0030】

また、屋内の各種電気機器 9 は、コンセントタップ 1 を介して家庭用商用電源に接続される。電気機器 9 は、屋内で通常使用するもので、主に、電気ストーブ、電気コンロ、アイロン等の高熱を発生する電気機器が対象となる。

【0031】

外部通信機器 7 は、外出先等の遠隔地にあつて、電話回線 8 を介して電話機 5 に接続される。この外部通信機器 7 を用いて電話機 5 に制御信号を外出先等の遠隔地から送ったり、また電話機 5 から送られてくる情報を、この外部通信機器 7 を用いて外出先にて受信したりする。

【0032】

なお、電話回線 8 を介して電話機 5 との間で情報のやり取りを行なう外部通信機器 7 としては、公衆電話機の他に、携帯電話機、PHS 等が考えられる。

【0033】

各コンセントタップ 1 には、各々、識別コードが付与される。識別コードは、各コンセントタップ 1 に固有のものであり、電話機 5 及び各コンセントタップ 1 の制御回路部 21 は、識別コードに基づいて各コンセントタップ 1 を識別するこ

とができる。

【0034】

電話機5は、通常のMCAコードレス電話機を構成する機能に加え、自動着信・応答機能、電源遮断システムのユーザー認証手段である暗証番号識別機能、電源遮断システムの実行開始を受け付ける実行指令受付機能、コンセントタップ1の自動呼出機能、電源遮断指令の発信機能、及び、電源遮断の実行結果の受付機能から構成される。

【0035】

次に、本発明に係る電源遮断システムの動作を、図4に示すフローチャートに従って説明する。まず、利用者が外出先の外部通信機器7から自宅に電話をかけると（ステップS1）、電話機5が自動着信・応答する（ステップS11）。外部通信機器7におけるボタン操作により暗証番号を入力すると（ステップS2）、電話機5は、アクセスした利用者の暗証番号を確認する（ステップS12）。

【0036】

暗証番号の確認が終了した後、電話機5は、利用者に対し、コンセントタップ1の電源を遮断するか否かの選択入力を要求する（ステップS13）。この場合、電話機5は、例えば、「電源を遮断する場合は1を、電源の遮断をしない場合は2を押してください」という音声メッセージを出力する。

【0037】

コンセントタップ1の電源を遮断しない旨の選択入力が行なわれた場合には、コンセントタップ1に対する一連の制御操作が終了する。コンセントタップ1の電源を遮断する旨の選択入力が行なわれると（ステップS3）、電話機5は、コンセントタップ1の電源を遮断するための制御信号をコンセントタップ1に送信することによって（ステップS14）、コンセントタップ1の電源を遮断させる（ステップS21）。

【0038】

コンセントタップ1は、電源の遮断動作が完了すると、実行完了の無線信号を電話機5に対して発信する（ステップS22）。その後、電話機5は、コンセントタップ1に対する一連の電源遮断操作終了の通知を行ない（ステップS15）

、利用者は、電源が遮断されたことを確認して電話を切る（ステップ S 4）。

【0039】

図 5 は本発明に係る電源遮断システムの第 2 の実施例の構成を示す図である。  
図 5 において 19 は電気機器であり、例えばこのシステムの契約者の自宅に設けた電気ストーブ、電気コンロ、アイロン等である。10 は自宅に設けた電源遮断装置である。

【0040】

この電源遮断装置 10 は、各コンセントタップ 11 に制御信号を送ってこれらを自動制御する。電源遮断装置 10 と各コンセントタップ 11 とは、無線回線 16 により情報の送受信を行なう。

【0041】

20 は電話回線 18 に接続されたコール・センターであり、このコール・センター 20 のデータベース・サーバーには契約者データが管理されている。契約者データは本システムの契約者に対応するものであって、契約者宅の電話番号、暗証番号等が設定される。データベース・サーバーは契約者データを管理するサーバーであり、コール・センター 20 の一部である。コール・センター 20 は、電話回線 18 を通して電源遮断装置 10 に電話する。この電話は、利用者の指令に基づいて行なわれる。

【0042】

次にこの実施例の動作を説明する。まず、コール・センター 20 に契約者の契約者データを登録する。この登録は、契約者宅の電話番号と利用時に使用する暗証番号を登録することにより行なう。

【0043】

外部通信機器 17 でコール・センター 20 にアクセスする際には、契約者はコール・センター 20 の電話番号に電話する。そして、コール・センター 20 の自動音声応答装置は、外部通信機器 17 に暗証番号の入力を促す。

【0044】

契約者は、この自動音声案内の後に暗証番号の入力を行なう。その入力結果から、データベース・サーバーの契約者データの中から該当する契約者データが検

索され、検索結果がコール・センター 20 の CTI (Computer Telephony Integration) サーバーにメモリされる。

【0045】

契約者データの検索が終わると、コール・センター 20 はこの契約者データの内容の契約者宅に電話する。契約者宅の電源遮断装置 10 は、かかってきた電話番号に基づいてコンセントタップ 11 を自動制御する。なお、電源遮断装置 10 において電源遮断のためのアクセスができる電話番号をコール・センター 20 のものに限定しておけば、セキュリティの確保に都合がよい。

【0046】

予め設定された発信元電話番号以外からの着信の場合には、電源遮断装置に接続された電話機 15 に電話を転送する。予め設定されている発信元電話番号と合致した場合、電源遮断装置 10 は、コンセントタップ 1 の電源を遮断するための制御信号をコンセントタップ 11 に送信することによって、コンセントタップ 11 の電源を遮断させる。

【0047】

コンセントタップ 11 は、電源の遮断動作が完了すると、実行完了の無線信号を電源遮断装置 10 に対して発信する。その後、電源遮断装置 10 は、コンセントタップ 11 に対する一連の電源遮断操作終了の通知を、発信元のコール・センター 20 に対して行ない、利用者は、電源が遮断されたことをコール・センター 20 から通知される。

【0048】

なお、本発明は、上記実施の形態の内容に限定されるものではなく、本発明を応用した形で適宜変更可能である。例えば、遠隔操作で電源の投入を行なうようにしてもよい。これは、例えば、寒冷地等において、外出時に電源を遮断した暖房ヒーターに、帰宅前に外出先から遠隔操作で電源を投入し、帰宅時に部屋を暖めておく等の用途が考えられる。

【0049】

【発明の効果】

以上、説明したように、本発明に係るコンセントタップ、電源遮断システム、

及び電源遮断方法によれば、コンセントタップは、識別コードによって電話機によって管理され、更に、コンセントタップから離れた場所にある電話機からでも、無線信号によって各コンセントタップの電源を遮断することができるので効率的である。

#### 【0050】

また、外出先等の遠隔地から、電話回線を介して自宅にある複数のコンセントタップの電源を遮断することができる。従って、外出先等の遠隔地からでも自宅の電源を管理することが可能となり、例えば、外出に際して、電源をオフし忘れた、あるいは、オフしたことに確信を持ってない電気機器があっても、不安を抱えたまま、帰宅するまで電源が切れない、あるいは、確認し得ないということがない。

#### 【0051】

特に、電源を消し忘れた電気機器が、その動作中に発熱するような場合、発熱によって生じる不測の事態を回避することができるので、火災の発生等を未然に防止して家庭の安全を確保し得る効果がある。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図1】

本発明に係るコンセントタップの外観例を示す図である。

##### 【図2】

本発明に係るコンセントタップの内部構成を示すブロック図である。

##### 【図3】

本発明に係る電源遮断システムの第1の実施例の構成を示す図である。

##### 【図4】

本発明に係る電源遮断システムの第1の実施例の動作を示すフローチャートである。

##### 【図5】

本発明に係る電源遮断システムの第2の実施例の構成を示す図である。

#### 【符号の説明】

- 1 コンセントタップ

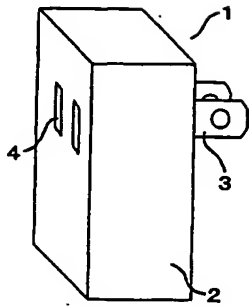
- 2 筐体
- 3 電源プラグ
- 4 プラグ差込口
- 5 電話機
- 6 無線回線
- 7 外部通信機器
- 8 電話回線
- 9 電気機器
- 1 0 電源遮断装置
- 1 1 コンセントタップ
- 1 5 電話機
- 1 6 無線回線
- 1 7 外部通信機器
- 1 8 電話回線
- 1 9 電気機器
- 2 0 コール・センター



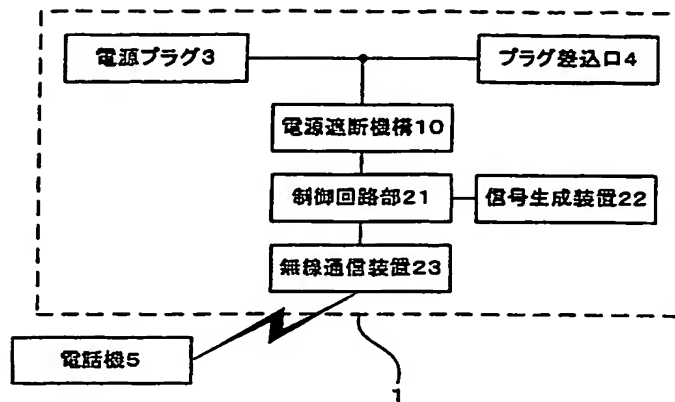
【書類名】

図面

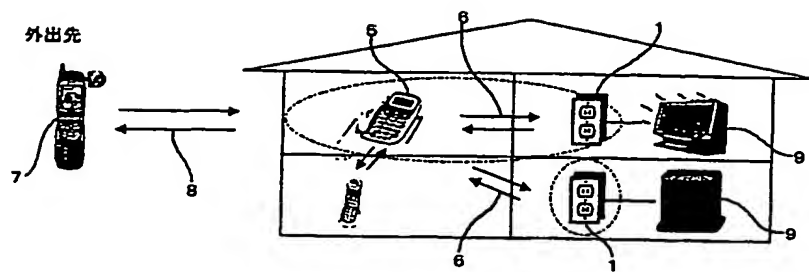
【図1】



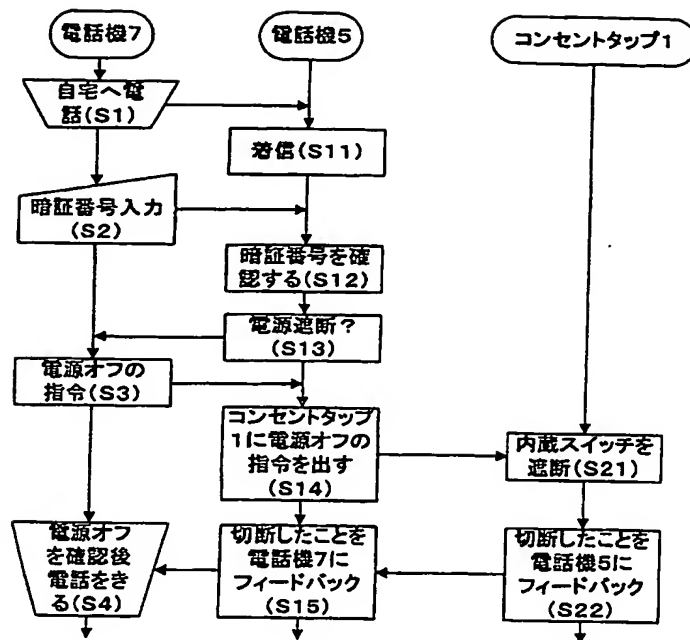
【図2】



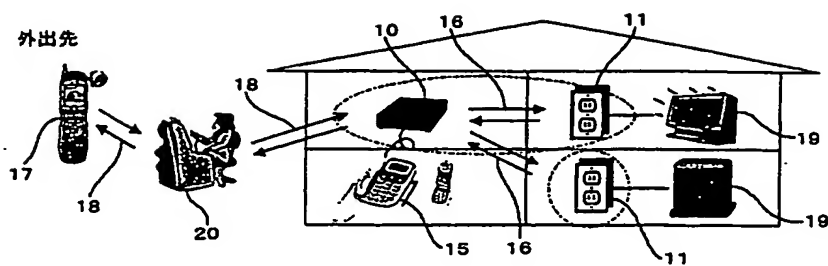
【図 3】



【図4】



【図 5】



## 【書類名】

要約書

## 【要約】

【課題】外出先からプラグ差込口における電力供給を遮断することができる電源遮断システムを提供することを課題とする。

【解決手段】家庭用商用電源に接続されることにより電気機器に対して電力を供給するコンセントタップ1と、このコンセントタップ1を制御するとともに、外部の電話回線に接続された電話機5とで構成される電源遮断システムであって、コンセントタップ1は、電気機器が接続されるプラグ差込口4と、このプラグ差込口4における電源を遮断する電源遮断手段と、外部の電話機5より送信された無線信号を受信する受信手段と、この受信手段により受信された無線信号に基づいて、電源遮断手段によりプラグ差込口4における電源を遮断させる制御手段とを備え、電話機5は、外部通信機器を介して送信された制御信号を受信する制御信号受信手段と、この制御信号受信手段に基づいて、コンセントタップ1に対して無線信号を送信する送信手段とを備える。

## 【選択図】

図2

## 認定 付加情報

特許出願の番号 特願2002-176022  
受付番号 50200878111  
書類名 特許願  
担当官 伊藤 雅美 2132  
作成日 平成14年 6月24日

## &lt;認定情報・付加情報&gt;

【提出日】 平成14年 6月17日

## 【特許出願人】

【識別番号】 591075892

【住所又は居所】 東京都杉並区方南2-12-26

【氏名又は名称】 株式会社テムコジャパン

## 【代理人】 申請人

【識別番号】 100081558

【住所又は居所】 東京都中央区京橋2丁目11番6号 京橋彌生ビル8階

【氏名又は名称】 斎藤 晴男

次頁無

出証特2003-3056705

特願 2002-176022

出願人履歴情報

識別番号 [591075892]

1. 変更年月日 1998年10月14日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 東京都杉並区方南2-12-26  
氏 名 株式会社テムコジャパン
2. 変更年月日 2002年11月 6日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 東京都杉並区方南2-21-4  
氏 名 株式会社テムコジャパン